



おうちではじめるDIY

「おうちではじめるDIY」では、毎回おうちでつくれる、木の良さをいかした作品を紹介していきます。今回の作品は、食器などを運ぶのに便利な「トレー」です。持ち手にもなる枠が付いているので、持ち運びしやすい作品ですよ。

◇トレー◇

材 料

杉板 【A枠】400×34×12×2 【B枠】230×34×12×2
【C底板】350×80×8×2 【D底板】350×46×8×3
【E脚】298×46×8×2
スリムビス25ミリ18本、スリムビス16ミリ2本、スリムビス13ミリ10本、
木工用ボンド、紙やすり（180番）

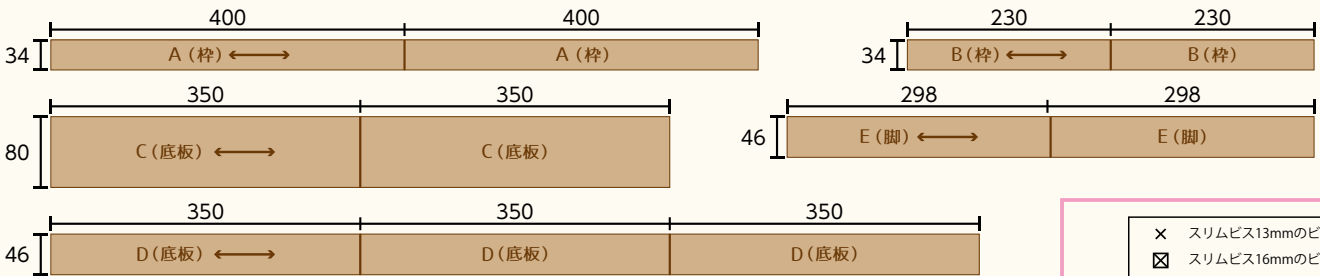
※材料寸法は長さ×幅×厚み×枚数であらわしています。単位はmm
※木材は、ホームセンターの木材カットサービスを使って入手することができます。
お手持ちの木材のサイズに合わせて、作品の長さや幅をアレンジしてもよいです。
※塗料は、ミルク原料を使用した天然由来ペイントとUVクリアコートを使用しています。



道 具

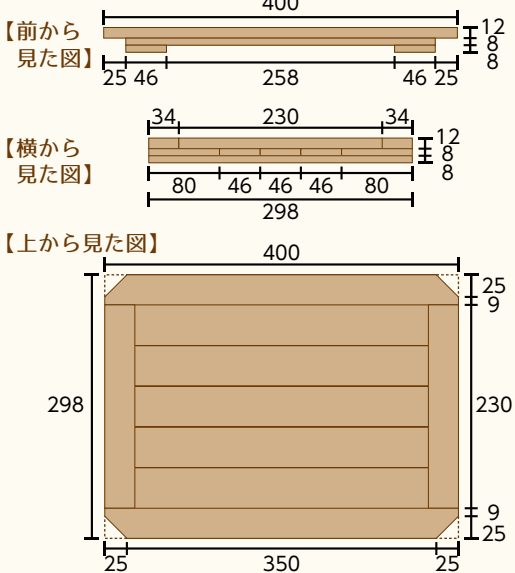
ドリルドライバー、ドリルビット（2ミリ）、ドライバービット（+1）、
定規、スコヤ、キリ、ボードカンナ、のこぎり、クランプ、ヘラ（ボンド用）、塗装用スポンジ、木枠や捨て板等

木取り図 単位：mm（ミリ）

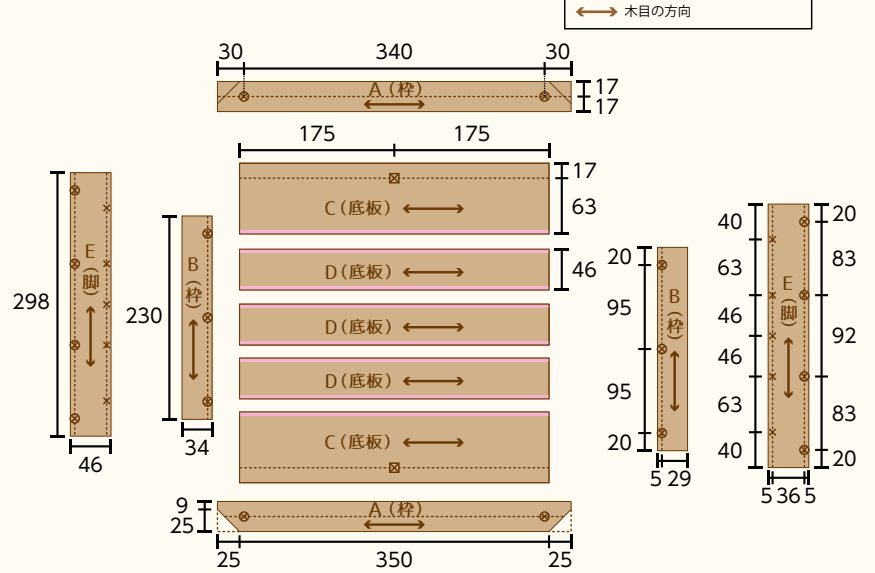


- × スリムビス13mmのビス位置
- ☒ スリムビス16mmのビス位置
- ⊗ スリムビス25mmのビス位置
- 下穴・ビス位置・合わせ位置をつけるためのえんぴつ線
- 木目の方向

完成図



加工図 単位：mm（ミリ）



スマイルウッド おうち木工教室 笠部のおうち

国産杉の木工キットを使った、こだわりがいっぱいの木工教室を開講。木材は産地証明付き。天然素材の接着剤や植物のやすりを使い、他にはない体験ができます。60種類以上の木工キットは、コースターのような小さな作品から大人用のツールのような作りがいのある作品まで多種多様。塗装は20色のカラーパリエーションを用意。選ぶ楽しみ、作る楽しみ、使う喜びを感じていただける『おうち木工教室』。木工がはじめてという方も大歓迎。楽しみながら作品をつくるうちに、DIYの幅が広がります。体験レッスンも随時受け付け中！

住 所 伊賀市笠部 533
開講時間 火曜・土曜 13:30～17:00
 ※応相談。要電話予約
TEL 080-7041-6483
HP <http://smile-wood.com/>



作り方



①印をつける
定規やスコヤを使って、部材の内側(接着面)にビス位置や合わせ位置の印をつけます。



②下穴をあける
ドリルビットのずれ防止に、ビス位置にキリで軽く穴をあけておきます。2ミリのドリルビットを付けたドリルドライバーで、ビス位置に下穴(貫通穴)をあけます。木枠にのせた捨て板の上に材を置いてあげましょう。



③ボードカンナで面をとる
ボードカンナを使って、C底板の前面内側とD底板の前面内側(加工図のピンクのライン部分)の面をとります。



④のこぎりA枠を斜めに切り落とします。



⑤組み立て
接着面にボンドを塗り、ドライバービット(+1)を付けたドリルドライバーでビスどめします。組み立ての順番は次のとおりです。



⑤<1>
C・D底板の裏側にE脚のをせ、脚の内側の穴に13ミリのビスを打ち、底板を1枚につなげます。



⑤<2>
<1>にA枠の1本をつけます。A枠にはC底板と接する部分のみボンドを塗るように注意しましょう。



⑤<3>
<2>にB枠を2本つけます。底板と接する部分は外側10ミリになるように置きましょう。



⑤<4>
<3>にもう1本のA枠をつけます。



⑤<5>
<4>を裏返しC底板には16ミリ、E脚には25ミリのビスをとめます。



⑥やすりかけ
紙やすりで表面を整えます。木目と同じ方向にかけましょう。



⑦塗装
スポンジを使って塗料を少量ずつ塗り重ねます。面取りをした部分など、スポンジで塗りにくいところは細い綿棒を使うとよいでしょう。2、3日乾かした後、UVクリアコートをウエスで塗っておくと、水分をはじきやすくなり、汚れや輪じみが付きにくくなります。



講師紹介
スマイルウッド代表
岡さつきさん

伊賀市笠部で「スマイルウッド『おうち木工教室』」を開講。木でできたものが持つぬくもりと、ほっとする時間を届けたいという想いから大阪で起業。その後、木工の師匠や仲間と出会い、自宅でも開業できるおうち木工教室の講師を養成する「スマイルウッド」の代表に。2015年に古い民家を仲間と改装し、拠点を伊賀市笠部へ。木のものづくりの楽しさを広げたいと日々奮闘中。

今回の基礎知識！【下穴を真っ直ぐあけるには】

ドリルビットが部材に対して垂直になっているかどうか、スタンド式ミラーを使って確認してみましょう。

確認できたら、部材に目線を戻して穴をあけます。穴あけも組み立ても、電動ドライバーを部材に対して垂直に使うことが、ビス組み上達のカギになります。



おすすめディスプレイ



お盆として使う以外にも、植物を飾ったりお花をアレンジして壁掛けにしたりと使い方はいろいろ。家族の人数分つくて、毎日の食卓で使っても素敵ですね。